

# 平成26年度当初予算を可決

希望と絆を未来につなぐ高知市を目指して

本市は、平成21年度からの収支不足解消に精力的に取り組み、当初の計画以上の財政再建を達成しましたが、26年度から30年度までの将来推計では、5カ年で約60億円の収支調整が必要であり、今後も投資事業の平準化などにより収支の均衡を図ります。

26年度当初予算は、安定的な財政運営を基本として、行財政改革に継続的に取り組むとともに、第2次実施計画に搭載された施策・実施事業をベースにした「安全・安心のまちづくり」「活気あふれるまちづくり」「環境にやさしいまちづくり」に重点を置いた編成となっています。

## 【当初予算市長説明要旨】

### ～新年度予算の主な施策～

### ■安全・安心のまちづくり

南海地震対策では、「南海地震対策再検討プロジェクト」

ム、「女性の視点による南海地震対策検討委員会」からの提言などを反映させた地域防災計画の修正を7月までに完了させる。

津波避難対策として、浸水想定区域全31地区の津波避難マップを作成し、地区内の全世帯に

配布する。また、津波避難タワー18カ所、津波避難センター2カ所の整備に取り組み。

避難行動要支援者対策については全体計画を策定し、住民相互の助け合いなどを支援する。

学校施設については耐震化を最優先で進め、27年度末までに校舎の耐震化完了を目指す。また、保育園舎については公立保育園の改築工事を実施するとともに、民営保育所に対し助成等を行い、30年度末までの耐震化完了を目指す。

消防署所の再編整備については、(仮称)南部分署は27年4月開署を目指す、26年度には建築本體工事に着手するとともに、(仮称)北消防署についても建築基本構想を策定する。また、津波浸水被害が想定される2カ

### ■活気あふれるまちづくり

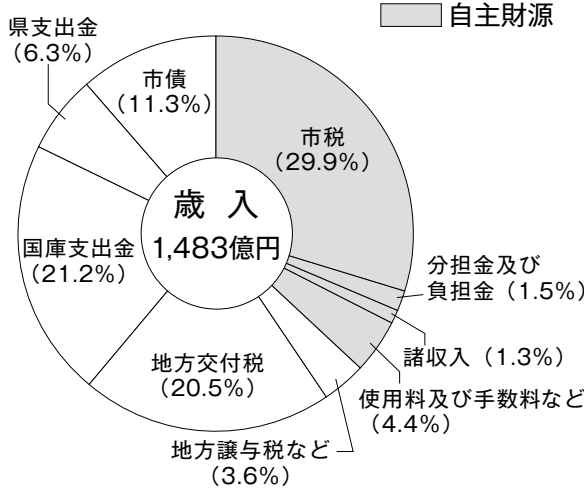
産業団地整備については、県市共同で(仮称)高知一宮団地の整備に取り組み、28年度の分譲開始を目指す。さらに新たな産業団地整備を念頭に候補地を選定した上で、基本設計や地形・用地測量を進めていく。

移住・定住促進については「移住・定住促進室」を新設し、中山間地域における居住環境の整備に向け、子育て世帯向けの住宅整備を推進する。

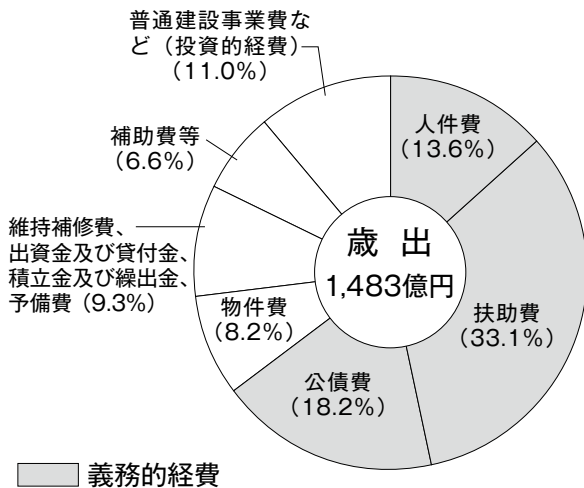
観光行政については、高知市観光振興計画による取り組みを県、観光関連事業者等とともに推進する。四国霊場開創1200年記念に当たる今年は、ゴールデンウィーク期間中の五台山周辺の渋滞緩和に取り組みとともに、周遊観光バスを活用した五台山ナイトツアーを実施する。

### ■環境にやさしいまちづくり

老朽化が著しく、災害時の対応等から建て替えを急いでいる新クリーンセンターについては、26年度末の完成を目指す。



平成26年度 一般会計予算構成



## 審議日程 (3月定例会)

6日 開会

行財政改革調査・南海地震対策調査・都市再生調査特別委員会中間報告

市長提出議案提案理由説明

11日 代表質問  
深瀬 裕彦 (市民クラブ)  
福島 明 (新こうち未来)

12日  
和田 勝美 (新風クラブ)  
下本 文雄 (日本共産党)

13日  
高木 妙 (公明党)  
戸田 二朗 (新こうち未来)

14日  
西森 美和 (公明党)  
清水おさむ (新風クラブ)

17日  
川村 貞夫 (新こうち未来)  
岡崎 豊 (市民クラブ)

18日  
田鍋 剛 (市民クラブ)  
寺内 憲資 (公明党)

19日  
上田貢太郎 (新こうち未来)  
下元 博司 (日本共産党)

20日  
常任委員長報告  
修正案提出 討論 採決

26日  
人事議案提案理由説明 採決  
閉会